

## 運営委員長就任のごあいさつ

財団法人 大阪科学技術センター  
ATAC運営委員長 梶原 孝生



6年間務めた五百蔵前運営委員長のあとを継いで後任の運営委員長を任されました新任の梶原です。宜しくお願い致します。

“一つの物語の終わりには別の新しい物語の始まりがある”という言葉は、ドストエフスキーの「罪と罰」の中に出てくる言葉ですが、ATACも新しい一歩を踏み出し、新しい物語の始まり

と言うことを新任の義務として、またATACのメンバー全員が新しい一歩を踏み出す機会として認識し、ATACメンバー全員と共に更なる努力と研鑽を重ねて参る所存でございます。

近畿経済圏の地盤沈下を危惧する声がしばしば聞こえて参ります。色々な施策も努力されてはおりますが、その成果を生む起動力は何と言っても中堅・中小企業に鍵があること、これもよく言われていることでしょう。

しかし、これらのかけ声と、実際の現場で血みどろの戦場にある皆様がたのご苦労との間には、埋めがたいほどのギャップが存在することも十分に理解できます。ATACこそは、これらのギャップを埋めることを使命としております。

我々ATACの活動は、中堅・中小企業の真の活性化を、現場に飛び込み、現場で一緒になってお手伝いする事に日夜努力を重ねてきております。

ATACの活動をご理解いただき、存分にご活用いただくことが貴社の発展向上に寄与することを強く信じております。是非ともATACを信じてご活用下さい。我々も必ずそのご期待に報いることをお約束致します。

これからの中堅・中小企業の活性化には、ネットワークの強化、目利きの必要性などが必須の要件となることは間違いありません。また、海外進出、海外の先進技術の動き、今後の戦略などにこれらが重要であることも容易に理解されることでしょう。

また、昨今の国内での製造力の弱体化問題、コスト対策、社員教育などの課題解決も重要課題と思われま。これらの解決こそが我々ATACの知恵の出どころと自負しております。

ATACの活動は、貴社とATACとの信頼関係からスタートすると思います。その信頼関係はATACの実績に裏づけされたものでなければなりません。先ず、ATACの確固たる過去の実績に目を向けて頂き、ATACをご理解下さい。貴社の発展をめざしてATACにそのお手伝いの機会を与えて下さることを、ここにあらためてお願い申し上げ、就任の挨拶に替えさせていただきます。

## 平成15年度ATAC役員人事

平成15年度ATACの運営を担当する役員は下記の通り決定しました。

会 長	杉 山 一 彦	留任
副 会 長	荒 川 守 正	留任
	五百蔵 弘 典	新任
委 員 長	梶 原 孝 生	新任
副委員長	田 頭 規 夫	留任
	成 富 辰 雄	新任
委 員	藪 野 嘉 雄	留任
	深 瀬 信 重	留任
	三 原 恵 二 郎	留任
	加 瀬 一 彦	留任
	小 川 裕 策	新任

## 好評を得た第1回社長懇話会

### 平面研削盤で世界一の長島精工(株)見学と懇談会

A T A Cでは、中堅・中小企業の社長の皆様の個性あふれた経営理念や考え方をお互いに語り合える場があれば、経営の舵取りにさらに深みを増すとともに、A T A Cの今後のコンサルティングにいろいろと示唆を与えていただけたと考え、A T A Cに社長懇話会を設け、その第1回会合を去る3月5日(水)に開催しました。



第1回は人材育成をテーマに世界最高水準の平面研削盤を生産する京都府城陽市の長島精工株式会社本社工場を見学した後、京都市内のホテルで長島社長の持論を拝聴しました。その後、参加社長の活発な意見交換が行われ、熱のこもった社長懇話会となり、たいへん好評でした。

当日はソフト開発、流体機械、自動制御機器、包装資材、プラスチック製品、精密ヒーター、微生物関連まで、多彩な業種の中堅・中小企業の社長様11名のご参加をいただき、それぞれの立場で見学と懇談を通じて、人材育成と技能の大切さに感銘され収穫ある懇談会を経験されたことと思います。

長島精工では、「キサゲと三面摺り」という手作業の技で研削精度に必要な研削盤の滑り面の精度を上げ、ドイツのユング社を抜いて世界一の加工精度を誇っています。それは、平均年齢28歳の若い技能者の手作業から生まれており、その職人の技能教育が当社の平面研削盤の機軸となっているのです。今後日本の製造業が世界に通用する製品を作り続けるための技能の大

切さが強調されていますが、それをまのあたりに見て、一同深い感銘を受けました。工場では次々に出来上がっていく製品や、海外有名メーカーの研削盤を修理している状況をつぶさに見学することができました。さらに、完成して出荷を待つ機械には、加工・組み立てを担当した技能者の名前が彫りこまれ「私が誠意と情熱を持って作り上げました。末永く愛情を持ってご使用ください」と書かれていました。

工場見学を終わって懇話会での長島社長のお話は自らの技能者としての経験から滲み出る熱弁で創業当時の苦労談から始まり、研削盤の精度は若者の技能から生まれ、その技能は体で覚えるのが一番との信念を一貫して強調され一同感服した次第です。



最先端産業を支える超精密技術は、日本の伝統に培われた職人の「こだわりのキサゲ作業」から生まれる。

**お知らせ** 第2回社長懇話会を7月23日(水)に開催する予定です。詳細は追って発表しますのでご期待ください。

## 読者の皆様との交流頁

この頁を読者の皆様とATACとの相互交流に使っています。企業の抱える当面の諸問題について、企業内だけで処理するより、他の企業やATAC等に課題を持ち掛け、他人の知恵や専門知識を利用した方が解決が早いケースが多いので、下記のように『読者の掲示板』と『企業PRコラム』を設けました。

### 読者の 掲示板

## 人・材・募・集

当社は高周波ウェルダ―、超音波ウェルダ―、大気圧プラズマ処理装置等、高周波応用機器のメーカーですが、現在高周波電源装置の設計およびマネージメントができる40歳前後の電気技術者を募集しています。応募または斡旋をご希望の方はATAC事務局までご連絡ください。

(P社)

当社は特殊車両、航空機部品等の製造販売をしていますが、航空機部品組み立て治具の設計技術者およびアルミ溶接技能者を募集しています。詳細はATAC事務局にお問い合わせください。

(Y社)

### 企業 PR コラム

## 伝統の風味を守り、 経営近代化を推進する(株)向井珍味堂

株式会社 向井珍味堂 代表取締役社長 中尾 敏彦



当社は創業者の向井浅吉が、「他にないような、おいしくて珍しい食べ物を提供したい」と1947年に設立し香辛料や青海苔、きな粉など粉末食品の製造販売を50年以上続けている老舗と呼ばれる企業です。3代目の現社長は伝統の風味を守りながら経営の近代化を推進するため、ATACの協力を得て経営革新を推進中で、その目指すところは上質の殺菌食品を量

産することです。近代的な設備の開発と徹底した品質管理に重点を置いて、極上の天然物の色や風味を守ったまま味・品質・安全性の3拍子揃った製品の生産を続けながら、日夜革新に努めています。

お問い合わせは下記まで。

株式会社向井珍味堂  
〒547-0005 大阪市平野区加美西1-12-18  
TEL 06-6791-7337 FAX 06-6792-7231  
E-mail kkmukai@pop02.odn.ne.jp  
URL <http://www.mukai-utc.co.jp>

産することです。近代的な設備の開発と徹底した品質管理に重点を置いて、極上の天然物の色や風味を守ったまま味・品質・安全性の3拍子揃った製品の生産を続けながら、日夜革新に努めています。



ATACホームページもご覧下さい

ATACニュース第3号に関するご意見、および今後のご要望をどしどしATAC事務局までご連絡ください。

### ATAC事務局 担当/三原・橋本

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4  
(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部  
TEL06-6443-5323 FAX06-6443-5319  
e-mail : [atac@ostec.or.jp](mailto:atac@ostec.or.jp)

URL <http://www.ostec.or.jp/tec/atac/index.html>

# ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。

～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで12年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

## 1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

## 2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

## 3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまで刊行した書籍は右記の通りです。

ATACの経営便利帳

現場の課題解決はこうする

(中堅・中小企業の業務改善事例)

中堅・中小企業へのATAC提言集

- ① 新商品開発のヒント
- ② ISO9000認証取得の手引き
- ③ ISO14001認証取得の手引き
- ④ 中小企業のためのIT
- ⑤ 材料選択の手引き
- ⑥ 設計を考える

ナスカ

## 4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

## 5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。



右 服部社長 (ISO9000)  
左 大前部長 (ISO14000)

## ISO9000と14000の同時認証取得に成功した 服部ヒーティング工業株式会社

服部ヒーティング工業(株)(社長服部栄市氏)はISO9000と14000の同時認証取得を目指し、ATACが協力し全社を挙げて取り組んできましたが、社長以下全員の努力が実を結び、今春めでたく審査機関ロイドの審査をパスし認証取得に成功しました。ロイドでは同時取得は初めての快挙と賞賛しており、スタートから半年ほどの超スピードも記録に残る早業と言えます。服部社長はATACの指導のお陰と感謝しておられますが、ATACも同時取得の経験を生かし、今後もISO認証取得のスピード化にご協力したいと考えています。

## 書評

「気がつくともちがぐちゃぐちゃになっているあなたへ」

(リズ・ダベンポート著 平石律子訳 2002年9月 草思社刊 価格1,300円)

この種の本にしては珍しい翻訳書で、著者は現在整理術のカウンセリング会社を経営している整理の専門家である。整理・整頓は世界のビジネスマン共通の課題のようだ。平均的なビジネスマンは探し物をするためだけに、年間150時間を浪費している。これがなくなれば、今よりどれだけ多くの休暇がとれるかという欧米人らしい発想が原点である。

内容はデスクをコックピットにして「どんな仕事でも座ったままで最後まで仕上げられるようにする」から始まり「1日の終わりにデスクの上をきれいにする」まで平凡だが効果著しい整理のノウハウを披露している。日本で評判の超整理法とは一風変わった味があり、探し物に悩むビジネスマンには一読の価値がある。